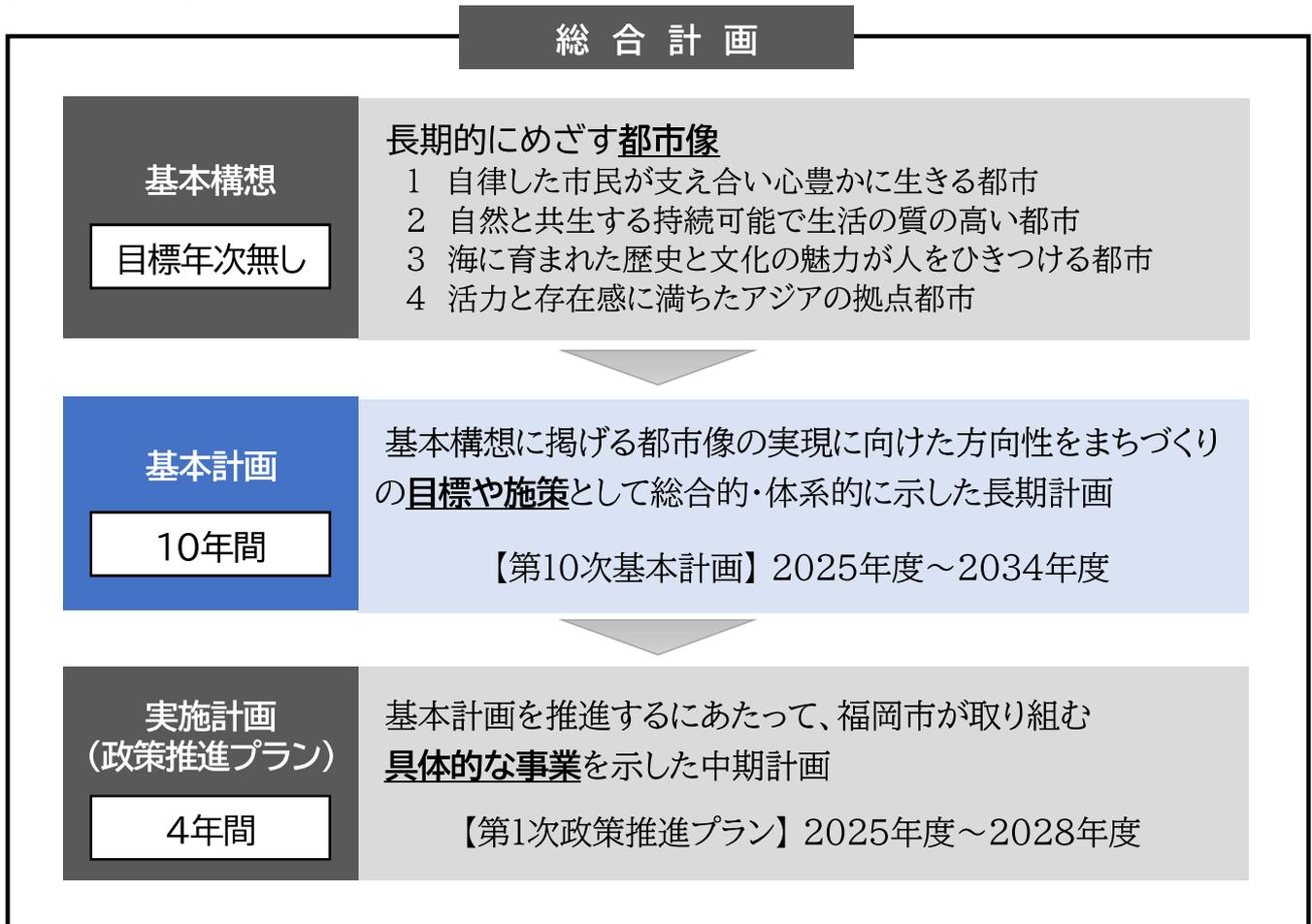


第10次福岡市基本計画について

多くの市民の皆様のご意見を取り入れながら検討を進めてきた「第10次福岡市基本計画」につきましては、市議会において可決されたことを受け、令和6年12月に策定いたしました。

各局・区・室におかれましては、計画の実現に向けて、着実に取組みを進めていただきますようお願いいたします。

【計画の体系】



① 「生活の質の向上」と「都市の成長」の持続的な好循環を創り出す

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動と呼び込むことで都市が成長し、その成長の果実によりさらに生活の質を高めていきます。

② 多様な人材が育ち、集い、チャレンジできる環境をつくる

福岡市は、古来、国内外から多くの人々が訪れ、様々な人達が出会い、交流する都市として発展を遂げてきました。現在でも人口が増え続け、若者が多く、国内外からチャレンジ精神のある多様な人材が集まってきています。こうした福岡市の個性や強みを生かして、多様な人材が育ち、国内外から集い、互いに交流しながら、誰もが将来に向かってチャレンジできる環境をつくりま

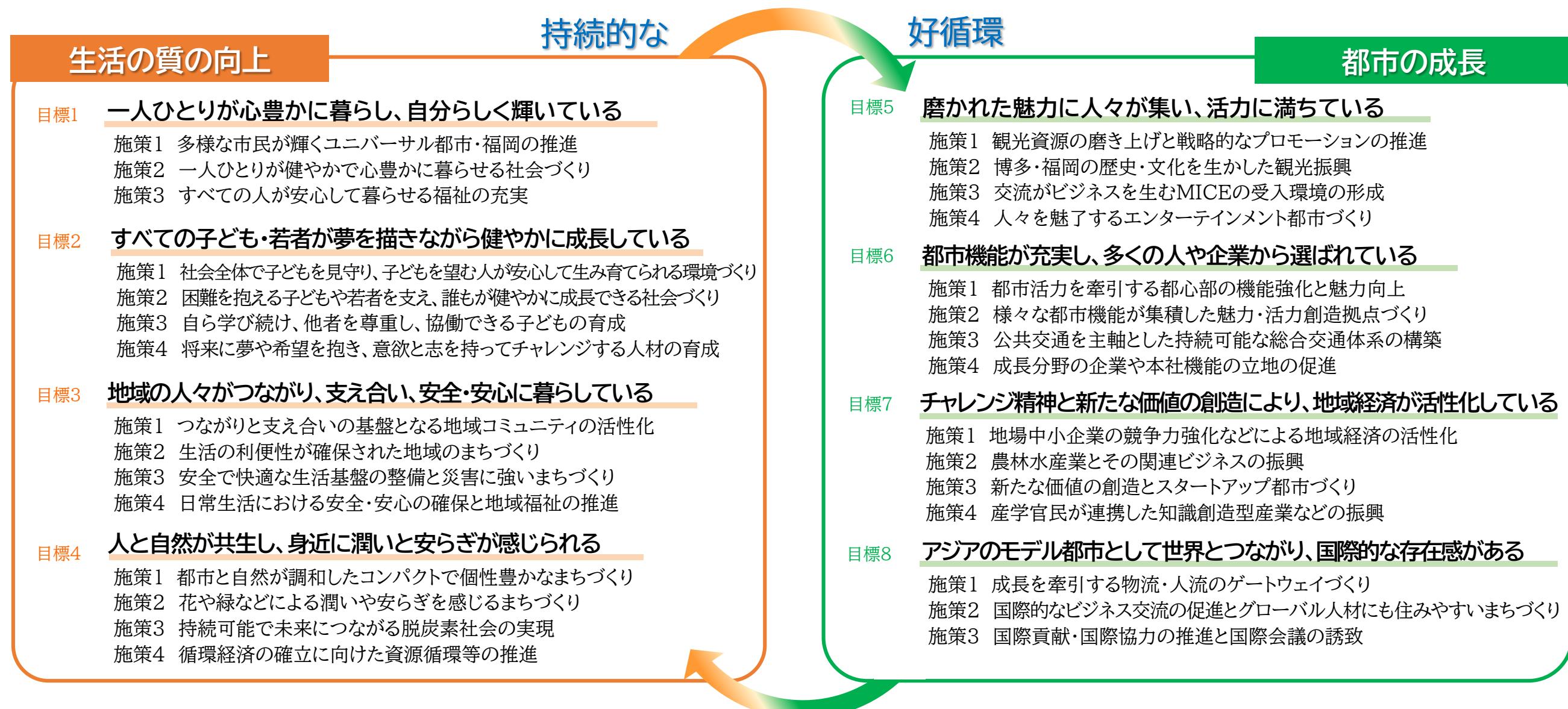
③ 福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担う

生活圏・経済圏が一体化した福岡都市圏の各市町との連携を基盤にして、九州・日本・アジアとの関係においても、広域的な役割を担っていきます。

- 九州全体の成長を促進するとともに、九州全体の安全・安心に貢献する役割を担います。また、九州からの人口流出の抑制に一定の役割を果たします。
- 日本とアジアをつなぐ役割を担うとともに、豊かな自然と都市機能がコンパクトに整った都市として、活力ある地域づくりの先導的な役割を担います。
- 経済的な成長と心豊かな暮らしのバランスがとれた持続可能な都市として、アジア諸都市のモデルになるとともに、文化的にも経済的にも継続的に発展する拠点としての役割を担います。

分野別目標

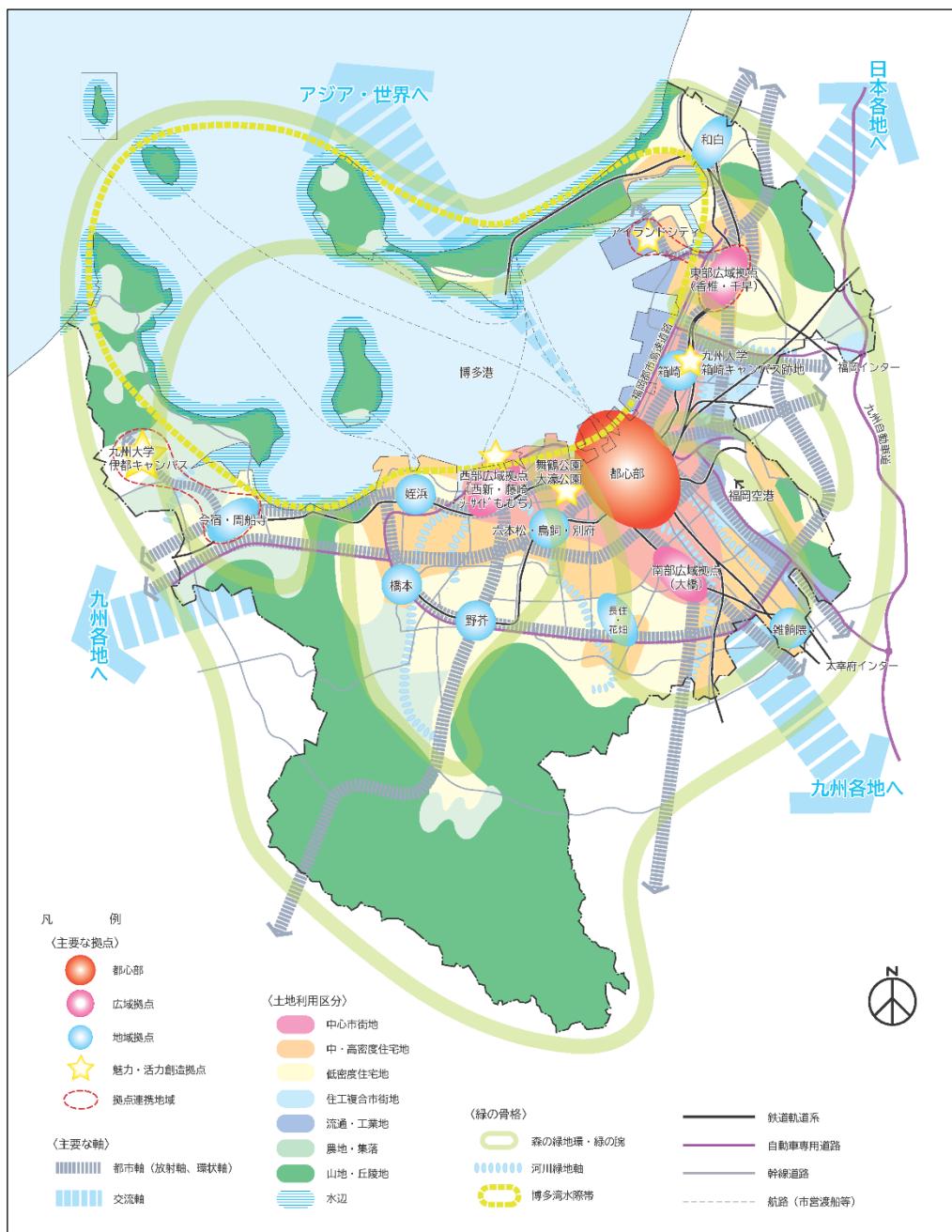
基本構想に掲げる都市像の実現に向けて、人やまちをどのような状態とするかを8つの目標として掲げ、その実現に向けた取組みの方向性を30の施策として示しています。



空間構成目標

市民生活や都市活動の場となる都市空間をどのように形成し、どのように利用するかを目標として示しています。

- 海や山に囲まれた地形的な特徴を生かし、都心部を中心にコンパクトな市街地が形成され、**都市的魅力と豊かな自然環境が調和し、安全・安心な暮らしのもと、市民が日常的にそれを享受しています。**
- 福岡市の都市活力を牽引する「都心部」、都市の成長を推進する「魅力・活力創造拠点」、限界性のある街空間の中で市民生活が営まれる「広域拠点」「地域拠点」「日常生活圏」、豊かな自然環境を継承する「農山漁村地域」など、それぞれのエリアの個性や強みが生かされ、交通ネットワークにより移動の円滑性が確保された「コンパクトでコントラストのある都市」が実現しています。



区のまちづくりの目標

市民及び様々な主体が、地域のまちづくりに取り組むために共有する目標として、7区に共通する施策の方向性を示すとともに、行政区ごとにまちづくりの目標を示しています。各区の特徴的な課題と取組みの方向性は次のとおりです。

<p>東区</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○7区最大の人口を有する一方、地域によっては人口が減少しており、それぞれの地域の実情に応じて、生活交通の確保など、きめ細かな支援を進めます。 ○豊かな自然、歴史、文化芸術を東区の魅力として磨き上げ、住む人が愛着を持ち、多くの人々が訪れる賑わいのあるまちづくりを進めます。
<p>博多区</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○単身世帯や転入者が多い特徴を踏まえ、高齢者や子育て世帯などの孤立を防ぎ、誰一人取り残さない福祉サービスの充実を図ります。 ○神社仏閣などの魅力発信や、伝統行事の振興・継承を図るとともに、経済活動の活性化、都市機能の充実等により、住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。
<p>中央区</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○共同住宅、単身世帯の割合が高く、転出入も多いため、地域コミュニティの希薄化等が課題となっており、それぞれの地域の課題に応じたきめ細かな支援を行います。 ○都心部の賑わいや屋台などの食文化、多様な施設などの魅力を生かし、個性があふれ、多くの人々が住み、働き、訪れたいまちを目指します。
<p>南区</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○夜間人口が多い「くらしのまち」で、西部・南部地域を中心に高齢化が進んでおり、地域コミュニティへの支援や公共交通機関の利便性向上などに取り組めます。 ○大学・短大などの多様な主体、油山や那珂川、鴻巣山などの身近な自然を生かし、地域の魅力向上に取り組めます。
<p>城南区</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化率が7区で最も高く、高齢者の社会参加の促進や健康寿命の延伸などに取り組むとともに、お互いに見守り支え合う地域づくりを進めます。 ○大学などと連携して、社会課題の解決や地域コミュニティの活性化を図るとともに、将来を担う人材の育成を支援します。
<p>早良区</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○北部では、西新・藤崎・シーサイドももち地区の機能充実を図るとともに、大学や企業などの集積を生かし、地域と連携した活力あるまちづくりを進めます。 ○中部では、ともてらす早良や地下鉄七隈線などを生かし、住民の交流が広がり、快適で便利なまちづくりを進めます。 ○南部では、脊振山系などの豊かな自然を生かし、人々が集う憩いのまちづくりを進めるとともに、公共交通の維持・確保に取り組み、地域住民や来訪者の利便性向上を図ります。
<p>西区</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然、歴史、文化などの資源を「西区の宝」と位置づけ、次世代に継承していくとともに、離島や市街化調整区域において、農業・漁業の活性化など、地域振興を図ります。 ○大学の人材と住民の連携・交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図るとともに、多様な人々が尊重され、個性を発揮できるまちを目指します。